



いずみ

令和5年9月1日発行

<学校教育目標>
かしこい子
やさしい子
たくましい子

学校HP



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

夏休みの貴重な体験を生かして

副校長 淋 慎一郎

42日間に及ぶ長い夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まります。もう夏休みも終わり？それとも待ちに待った2学期！今の心境はどちらでしょうか。私は、「あっという間の夏休み」でした。今年も「夢の42日間」があっという間に過ぎていきましたが、みなさんのリフレッシュも完了し、フル充電で2学期を迎えているのではないのでしょうか。私も車で郷里の熊本に帰ってリフレッシュし、我が子の身体の成長を実感してきました。（右の写真は、実家の大黒柱に刻まれた成長の記録です。毎年夏と冬に記録をしています。特に中学生の息子は成長著しく、年間10cm以上伸びている年も。）



さて、今年はコロナ禍が明けての、久々に制限のない夏休みとなりました。子供たちは、普段味わうことのできない、貴重な体験をたくさん経験してきたのではないのでしょうか。我が子（娘）も実家に戻ると、田舎でしか味わうことのできない体験をしました。

例えば、夜ご飯を食べていると、窓にヤモリの影が何匹も…。都会では、なかなか見ることのできない光景です。小学生の娘には、『なぜツルツル滑るガラスに張り付くことができるのだろう？』『何か足の裏に秘密があるのかな？』とたくさんの疑問が出てきました。そこで疑問に思ったことを本で調べたり、実際に捕まえて観察し、触って感触を確かめたりして、一つ一つ疑問を解決し、さらにもっと調べたいという思いが強くなり、夏休みの自由研究としてまとめていました。本物に触れることができたからこそ、自分なりに課題やテーマを決めた上で、探究的な学習ができたのではないかと感じました。

心身ともに、大きく成長することができた夏休み。そして普段とは違う貴重な体験をたくさん経験したことで、子供たちの興味や思考が刺激された夏休み。2学期以降も子供たちの意欲を高め、学びの楽しさを味わわせ、問いをもって学び続ける子供たちの育成を目指し、教職員一同精進してまいります。今後とも、皆様方のご理解、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



関門海峡（山口県側）より、九州（福岡県）を望む。

9月の生活目標

時刻を守ろう

- 登下校の時刻を守ろう。
- 授業に間に合うようにチャイム着席し、授業の準備をしよう。

9月の安全指導

災害時における行動

- 第一に自分の身の安全を確保すること。災害はいつどこで起こるか分かりません。また、家族が一緒にいるとは限らないので災害時の行動をご家庭でも話し合ひましょう。